

令和8年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年10月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）八百 博徳
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）石井 正則 TEL 03-6701-8085
半期報告書提出予定日 令和7年10月14日 配当支払開始予定日 令和7年11月14日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和7年3月1日～令和7年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年2月期中間期	7,601	20.2	1,007	72.1	1,010	71.0	709	70.0
7年2月期中間期	6,324	22.0	585	△1.8	590	△9.2	417	△7.8

（注）包括利益 8年2月期中間期 716百万円（79.5%） 7年2月期中間期 399百万円（△18.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
8年2月期中間期	84.66	—
7年2月期中間期	50.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
8年2月期中間期	7,761	6,167	79.5	735.24
7年2月期	6,772	5,576	82.3	666.15

（参考）自己資本 8年2月期中間期 6,167百万円 7年2月期 5,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年2月期	—	10.00	—	17.00	27.00
8年2月期	—	18.00			
8年2月期（予想）			—	20.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

令和7年2月期期末配当金の内訳 普通配当12円 35周年記念配当5円

剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正については、本日（令和7年10月14日）公表いたしました「通期業績予想ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 令和8年2月期の連結業績予想（令和7年3月1日～令和8年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	5.5	1,600	30.2	1,600	26.9	1,120	20.5	133.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（令和7年10月14日）公表いたしました「通期業績予想ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

8年2月期中間期	8,490,103株	7年2月期	8,490,103株
8年2月期中間期	101,096株	7年2月期	118,308株
8年2月期中間期	8,377,842株	7年2月期中間期	8,321,355株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績に関する説明	2
(2) 当中間期の財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における経済情勢は、緩やかな回復が続く一方、物価上昇や米国の政策動向の影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは連結売上高7,601百万円(前年同期比20.2%増)、営業利益1,007百万円(前年同期比72.1%増)、経常利益1,010百万円(前年同期比71.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益709百万円(前年同期比70.0%増)と、売上・利益ともに前年同期実績を上回る結果になりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業は、クレーンゲーム等のプライズゲーム市場が引き続き活況であったことから定番キャラクター商品の受注が堅調に推移したことに加え、海外事業においても取引先店舗でプライズゲーム機が増台されたことにより受注が増加した結果、売上高5,950百万円(前年同期比31.4%増)、営業利益890百万円(前年同期比99.4%増)と前年同期実績を上回りました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業は、インバウンドの影響を受ける取引先店舗は活況であったものの、その他の取引先店舗での販売が低調であったことに加え、定番ホビー向け商品シリーズの発売アイテム数が前年同期実績を下回った結果、売上高1,650百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益116百万円(前年同期比16.0%減)と前年同期実績を下回りました。

(2) 当中間期の財政状態に関する説明

①財政状態

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて989百万円増加し、7,761百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加額446百万円、商品の増加額297百万円、流動資産「その他」の増加額115百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて397百万円増加し、1,593百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額281百万円、未払法人税等の増加額142百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて591百万円増加し、6,167百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額566百万円(親会社株主に帰属する中間純利益709百万円、剰余金の配当△142百万円)によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し、3,817百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、251百万円(前年同期は60百万円の使用)となりました。

これは主に、売上債権の増加額501百万円、棚卸資産の増加額299百万円、法人税等の支払額172百万円により一部相殺されたものの、税金等調整前中間純利益1,010百万円、仕入債務の増加額285百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、53百万円(前年同期は87百万円の使用)となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出52百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、141百万円(前年同期は83百万円の使用)となりました。

これは主に、配当金の支払額141百万円があったこと等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、令和7年4月14日に公表いたしました令和8年2月期(通期)の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(令和7年10月14日)公表の「通期業績予想ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年2月28日)	当中間連結会計期間 (令和7年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,778,329	3,817,756
受取手形、売掛金及び契約資産	1,447,154	1,893,385
電子記録債権	397,453	447,250
商品	423,377	720,768
その他	282,781	398,671
貸倒引当金	△3,644	△4,746
流動資産合計	6,325,451	7,273,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,398	117,619
減価償却累計額	△9,342	△13,081
建物及び構築物(純額)	99,056	104,537
車両運搬具	4,066	4,066
減価償却累計額	△1,956	△2,307
車両運搬具(純額)	2,109	1,758
その他	388,203	418,733
減価償却累計額	△339,039	△365,097
その他(純額)	49,163	53,636
有形固定資産合計	150,329	159,931
無形固定資産	4,673	15,892
投資その他の資産		
投資有価証券	161,466	184,924
退職給付に係る資産	20,614	16,084
繰延税金資産	36,128	39,413
その他	109,888	105,800
貸倒引当金	△35,906	△33,472
投資その他の資産合計	292,191	312,750
固定資産合計	447,194	488,574
資産合計	6,772,646	7,761,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年2月28日)	当中間連結会計期間 (令和7年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	480,277	761,490
未払法人税等	170,116	312,672
賞与引当金	53,600	63,650
資産除去債務	1,133	—
その他	402,019	363,618
流動負債合計	1,107,147	1,501,432
固定負債		
資産除去債務	51,280	54,890
その他	37,375	37,375
固定負債合計	88,655	92,265
負債合計	1,195,803	1,593,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	511,659	520,221
利益剰余金	4,551,676	5,118,649
自己株式	△54,146	△46,109
株主資本合計	5,471,186	6,054,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,778	105,139
繰延ヘッジ損益	△2,613	688
為替換算調整勘定	18,490	7,375
その他の包括利益累計額合計	105,656	113,203
純資産合計	5,576,843	6,167,962
負債純資産合計	6,772,646	7,761,660

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)
売上高	6,324,763	7,601,514
売上原価	4,661,428	5,373,710
売上総利益	1,663,334	2,227,804
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	266,946	320,018
賞与引当金繰入額	50,000	63,650
退職給付費用	32,641	17,563
荷造運搬費	249,295	266,765
貸倒引当金繰入額	1,173	1,101
その他	477,971	551,657
販売費及び一般管理費合計	1,078,027	1,220,757
営業利益	585,306	1,007,046
営業外収益		
受取利息	271	1,359
受取配当金	843	853
為替差益	11,477	—
助成金収入	—	3,405
その他	721	962
営業外収益合計	13,314	6,581
営業外費用		
デリバティブ評価損	7,894	—
為替差損	—	3,618
その他	0	0
営業外費用合計	7,895	3,619
経常利益	590,726	1,010,009
税金等調整前中間純利益	590,726	1,010,009
法人税、住民税及び事業税	179,402	312,220
法人税等調整額	△5,900	△11,504
法人税等合計	173,501	300,715
中間純利益	417,224	709,293
親会社株主に帰属する中間純利益	417,224	709,293

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)
中間純利益	417,224	709,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,167	15,360
繰延ヘッジ損益	△25,416	3,301
為替換算調整勘定	3,329	△11,115
その他の包括利益合計	△17,920	7,546
中間包括利益	399,304	716,839
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	399,304	716,839
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	590,726	1,010,009
賞与引当金の増減額(△は減少)	△400	10,050
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,037	1,101
受取利息及び受取配当金	△1,115	△2,213
デリバティブ評価損益(△は益)	7,894	—
売上債権の増減額(△は増加)	△646,378	△501,636
棚卸資産の増減額(△は増加)	22,259	△299,157
仕入債務の増減額(△は減少)	370,041	285,203
その他	△107,049	△81,696
小計	237,016	421,660
利息及び配当金の受取額	1,115	2,213
法人税等の支払額	△298,249	△172,722
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60,118	251,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83,276	△42,123
無形固定資産の取得による支出	—	△10,400
資産除去債務の履行による支出	△3,900	△1,044
その他	68	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,107	△53,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△83	△79
配当金の支払額	△83,333	△141,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,417	△141,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,222	△16,536
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△228,420	39,426
現金及び現金同等物の期首残高	3,406,099	3,778,329
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 3,177,678	※ 3,817,756

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法
によっております。

②中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のと
おりであります。

	前中間連結会計期間 (自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)
現金及び預金勘定	3,177,678千円	3,817,756千円
現金及び現金同等物	3,177,678	3,817,756

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,528,749	1,796,014	6,324,763	—	6,324,763
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	261	261	△261	—
計	4,528,749	1,796,275	6,325,024	△261	6,324,763
セグメント利益	446,673	138,633	585,306	—	585,306

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,950,546	1,650,968	7,601,514	—	7,601,514
セグメント間の 内部売上高又は振替高	27	5	32	△32	—
計	5,950,573	1,650,973	7,601,547	△32	7,601,514
セグメント利益	890,603	116,443	1,007,046	—	1,007,046

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 令和6年3月1日 至 令和6年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	キャラクター エンタテインメント事業	キャラクター・ ファンシー事業	計
アミューズメント施設等への販売	4,228,733	—	4,228,733
カプセルトイ事業者への販売	299,902	—	299,902
ファンシーグッズの専門店・ 量販店等への販売	—	1,646,658	1,646,658
e コマース販売	—	149,356	149,356
ロイヤリティ収入	113	—	113
顧客との契約から生じる収益	4,528,749	1,796,014	6,324,763
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,528,749	1,796,014	6,324,763

当中間連結会計期間(自 令和7年3月1日 至 令和7年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	キャラクター エンタテインメント事業	キャラクター・ ファンシー事業	計
アミューズメント施設等への販売	5,621,179	—	5,621,179
カプセルトイ事業者への販売	328,514	—	328,514
ファンシーグッズの専門店・ 量販店等への販売	—	1,556,607	1,556,607
e コマース販売	—	94,360	94,360
ロイヤリティ収入	852	—	852
顧客との契約から生じる収益	5,950,546	1,650,968	7,601,514
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,950,546	1,650,968	7,601,514